

2009年6月26日

HOYA 株式会社  
メディカル事業部

## **白内障治療用眼内レンズの新製品「iMics1」を販売開始**

HOYA 株式会社メディカル事業部は、白内障の治療に用いる眼内レンズの新製品「iMics1 (アイミックスワン)」を6月26日から東京フォーラムで開催される第48回日本白内障学会総会・第24回日本眼内レンズ屈折手術学会総会・第45回日本眼光学学会総会・22nd APACRS Annual Meeting 合同学会で発表、販売を開始します。

今回発表の「iMics1」では、独自のループデザインと専用の挿入機器によって、レンズ挿入時の切開創を最小レベルの2.0mm前後とすることが可能になりました。滑らかかつ安全で再現性の高いレンズ挿入を可能にすることで、低侵襲化へと進化し続ける白内障手術に適合した眼内レンズとなっています。また、術式の小切開化は術後の惹起乱視を抑制する効果も期待されています。

従来の当社レンズはアクリルの光学部とPMMAのループにより作られていますが、その素材は日本当局以外にも米国FDA、欧州CEマーキングを取得済みであり、2001年以降200万枚以上の出荷実績を有します。「iMics1」は同じ素材を使用しながら、光学部のイエローアクリルが連続してループへと伸び、先端のみがブルーのPMMAとなっています。これにより、ループの柔軟性を利用したコンパクトな折り畳みや、先端の低粘着性による光学部への貼り付き防止が可能になり、より低侵襲で安全な手術に寄与する事ができます。また、本製品から新たにパッド研磨を採用。レンズ一枚一枚を丁寧に磨き上げるこの研磨方法と従来のタンブル研磨を組み合わせる事で、滑らかな光学部表面とシャープな光学部エッジを両立させており、細胞の遊走による後発白内障の抑制効果が期待できます。

HOYAは1988年の日本での眼内レンズ製造・発売以来、一貫して患者様の術後の長期的にわたる視覚の質向上を目的とした製品開発と、臨床への提供を行ってきました。現在当社の眼内レンズ事業は、国内で第2位、約30%のシェアを有しています。今後、本製品を軸にした展開を行い、その地位をより強固なものとしていきます。

また、本製品は今後、米国、欧州、アジアでも順次展開し、グローバルでの眼内レンズ事業成長の戦略的製品としていく予定です。

販売名	HOYA エイエフ - 1 (UY)
承認番号	21600BZZ00479000
モデル名	NY-60

商品名「iMics1」は販売名「HOYA エイエフ - 1 (UY)」モデル名「NY-60」の愛称です。



小さく折りたたまれた眼内レンズが挿入器具から放出される瞬間と新製品の「iMics1」

本件に関するお問い合わせ先：

HOYA グループ IR・広報担当

TEL：03-3232-0065